

第5回バイオマス・ペレット・トレード&パワー

2014年9月23日～25日、ソウル

ノボテルアンバサダー江南

CORPORATE SPONSOR



CO-HOST



ORGANISED BY



www.cmtevents.com

第1日目 (2014年9月23日火曜日)

- | | | | |
|-------|---|-------|---|
| 08:00 | 受付・コーヒー | 11:50 | 廃棄物資源とバイオマス規制：発電目的のためのパーム油バイオマス(ごみ固形燃料)の韓国への輸入—主な手続きと品質ガイドライン
環境部大臣
省長：ユ・ソングワン |
| 09:00 | 開会あいさつ：
韓国南東発電 (KOSEP)
専務取締役 | 12:20 | 韓国の発電会社の展望—現行プロジェクト(混焼、単独燃焼等)、発電向けバイオマス利用理念、木材ペレット/バイオマス輸入についての予想：
韓国南東発電 (KOSEP)
代表
韓国南発電 (KOSPO)
代表 |
| 09:05 | 司会者あいさつ | 13:30 | ネットワークキングと軽食、ディスカッション |
| 09:10 | 韓国におけるバイオマス利用市場の発展と成長の見通し
Korea Wood Pellet Corporation
社長：イ・ミュンギョ | 14:30 | インドネシアにおける木材ペレットとバイオマス市場—現在の発展状況、成長の見通し、およびパートナーシップの機会—インドネシアにおける木材発電用植林、バイオマスエネルギー用木材廃棄物利用、およびバイオマスエネルギー・ポリシー—成長の見通し—家庭におけるバイオマスエネルギーの利用状況、代替エネルギーとしての木材ペレット、および家庭における木材ペレット需要—パートナーシップの機会—産業植林の共同経営、ジョイントベンチャー、および民間コミュニティーとのパートナーシップ
PT Inhutani III (Persero)
統括責任者：バンバン・ウィディヤントロ博士 |
| 09:40 | 日本におけるFIT、バイオマスパワー開発と、サミットエナジーの糸魚川バイオマス発電所(SMP)
サミットエナジー株式会社
取締役社長：川辺 豊明 | | |
| 10:10 | 中国のバイオマス発電開発—その機会とビジネスとしての可能性
Anhui Guozhen Biomass Power Generation Pte. Ltd.
CEO：イ・ヨンファ | | |
| 10:40 | ネットワークキングと軽食、ディスカッション
提供 | | |
| 11:20 | ヨーロッパのバイオマスエネルギー化と貿易市場の傾向と教訓
GDFスエズ
バイオマス調達担当：ジョン・マーテンズ | | |



- | | |
|-------|---|
| 15:00 | 市場力学と極東・アフリカ供給のPKS(パームカーネルシェル)の仕様開発と未来
—PKSサプライチェーン、品質、入手可能性について
—極東—韓国、日本、中国における新市場
—PKS需要の高まりと価格のバランス戦略
PT Trenergy Biomasse Indonesia
代表取締役社長：アンドレア・アレッサンドリーニ |
| 15:30 | ペレット生産における東南アジアの農林業部門との商業的・社会的協力の
—CellMark社と現行のエネルギープロジェクトの状況—グリーン・ペレッツ・サラワク(GPS)とベトナム
—東南アジアにおける今後の計画と拡大
—再生利用エネルギーへの貢献
CellMark Asia Pte Ltd取締役：クレイグ・ジャクソン |
| 16:00 | ネットワークキングと軽食、ディスカッション
提供 |
| 16:30 | アメリカ東南地域における大規模木材ペレット工場と輸出ロジスティックチェーン
—サプライチェーンリンク：ファイバーサプライ、生産、国内輸送、船荷
—アメリカのペレットの世界市場輸出コスト予想 |



- | | |
|-------|---|
| 17:00 | 予測、憶測、そして現実：北アジアのバイオマス需要と供給力
Indufor Asia Pacific Ltd
バイオソリューション上級顧問：
マット・バヴランダー |
| 17:40 | ディスカッションの後、第一日目終了 |

17:50 ~ 19:20
ネットワークキング・カクテル
・レセプション
スピーカーと参加者

第2日目 (2014年9月24日水曜日)

- | | |
|-------|--|
| 09:00 | 司会者あいさつ |
| 09:05 | 大規模バイオマス混焼とCHP—混焼作業における燃料の混合自動化の効果
—バイオマス利用における主な管理問題—異なる燃料品質への対応
—CHP処理におけるバイオマスボイラー負荷の最大化の方法—補助燃料としてのオイル・ガス利用の最小化
—韓国からの自動配送の例
Metso Automation Inc.
社長、プラント・パフォーマンス・ソリューション担当：ジュハ・ベッカ・ジャルカネン |

第5回バイオマス・ペレット・トレード&パワー

2014年9月23日~25日、ソウル
ノボテルアンバサダー江南

CORPORATE SPONSOR



CO-HOST

ENERONE

ORGANISED BY



www.cmtevents.com

09:30 韓国の発電会社の展望—現行プロジェクト（混焼、単独燃焼等）、発電向けバイオマス利用理念、木材ペレット/バイオマス輸入の予測
代表
韓国西発電 (KOWEPO)
代表
韓国中部発電 (KOMIPO)
代表
韓国東西発電 (EWP)

10:50 ネットワーキングと軽食、ディスカッション

11:20 非木材代替原料；オリジナルバイオマス、ペレット、財務
- 石炭火力発電所におけるブラックペレットとホワイトペレットの燃焼・取扱いパフォーマンス比較
- 膨大な需要な予測されることから、エネルギー作物由来の燃料の時代が到来
- アジアにおけるエネルギー作物由来のバイオコール生産者の出現と、その経済と発展
- 太平洋沿岸の産業諸国における消費市場の穴場の存在—アメリカ

Asia Biomass & Electric
創業者、戦略的開発部門取締役：
ジェイミー・ハッデン

3 Ways To Register

Online: www.cmtevents.com
Email: sasha@cmtsp.com.sg
Tel: (65) 6346 9124

11:50 木材チップとペレットの乾燥ばら積み輸送市場と運賃
- 今後5年間における乾燥ばら積み輸送への影響
- 今後5年間における乾燥ばら積み輸送の供給成長率
- 将来の環境規制が乾燥ばら積み輸送に及ぼす影響
- 木材チップとペレットの輸送運賃の傾向
Drewry Maritime Services (ASIA) Pte. Ltd.
部長：ジャヴエンデユ・クリシュナ

12:20 産業ペレット生産：サプライチェーンのコスト削減、信頼性と投資利益率（ROI）の最大化における主な問題
- アジア市場を中心とした世界産業ペレット市場における需要と供給の予測
- ペレットサプライチェーンの、植林からバーナーにいたるまでの各ステップにおけるコストとリスク詳細
- ペレットサプライチェーンの財務モデルと、生産者とバイヤーの利益予測詳細
- 成功と失敗の可能性を示すライブシミュレーションと、プロジェクト開発者がどうしたら成功できるかについてのディスカッション

FutureMetrics, LLC代表取締役：
ウィリアム・ストラウス博士

12:50 ネットワーキングと軽食、ディスカッション

別途ご予約が必要です
別途ご予約が必要です
カンファレンス終了後ワークショップ
韓国のバイオマスエネルギー
— 一化市場における経営
14:00 ~ 17:30

このワークショップの目的は、韓国のバイオマス市場における現行および将来の参加企業が、競争力のあるビジネス概観を築くことです。韓国のバイオマスエネルギー市場に製品もしくはソリューション（バイオマス、木材ペレット、装置、サービスその他）の投入を検討されている方々すべてを対象にしています。Enerone社のエキスパートによって行われる半日ワークショップで、韓国におけるバイオマスビジネスについて、総合的な視点に基づいた情報を提供いたします。

- 背景
- 規制
- 主要企業
- 推進力と実践

第5回バイオマスペレット・トレード&パワー会議はアジアの成長にフォーカス

【シンガポール、ソウル（韓国）2014年7月29日PRN=共同JBN】Centre For Management Technology主催のメジャーイベント、第5回バイオマスペレット・トレード&パワー（Biomass Pellets Trade & Power）会議が2014年9月23日から25日まで再びソウルで開催され、「中国、日本および韓国におけるバイオマス需要の成長に乗る」というタイムリーなテーマで議論が行われることになった。この会議は、アジアの経済3大国における需要の伸び、オーストラリア、ベトナム、インドネシア、フィリピン、カナダ、米国のバイオマスペレット製造企業の大きな供給機会について検討を加える。

2014年のサミット開幕にあたり、韓国、日本、中国のバイオマス需要、成長予測に関する以下をはじめとするプレゼンテーションが行われる。Korea Wood Pellet Corporationのイ・ミンギョ社長による「韓国のバイオマス利用市場の発展と成長予測」、サミットエナジー株式会社の川辺豊明社長による概説「再生可能エネルギー電力固定価格買取制度（FIT）、日本におけるバイオマスから電源開発まで、およびサミットエナジーの糸魚川バイオマス発電所（SMP）」、Anhui Guozhen Biomass Power Generationのリ・ヨンファ最高経営責任者（CEO）の「中国のバイオマス発電の開発—機会とビジネスとしての持続性」。

この大規模イベントの中でも重要なセッションは韓国環境省高官による「廃棄物資源とバイオマス規制：韓国への発電用バーン油バイオマス（ごみ固形燃料）輸入—注意すべき主要手順と品質ガイドライン」で、これは韓国のごみ固形燃料の輸入認可に関する最近の修正を説明するものになる。

第3日目（2014年9月25日木曜日）

別途ご予約が必要です
現場査察とガイドツアー
韓国南東発電社 (KOSEP)
霊興(ヨンフン)混焼発電所
8:00 ~ 18:00

霊興(ヨンフン)火力発電所
石炭+木材ペレット)

ボイラータイプ：微粉炭燃焼ボイラー
(PC) 容量：3,340MW (800MW x 2基 + 870MW x 2基)
主要燃料：石炭
混焼燃料：木材ペレット
混焼率：3~5%
燃料品質：石炭 平均5,600kcal/kg、木材 平均4,300kcal/kg

さらに、韓国南東発電 (KOSEP)、韓国南部発電 (KOSPO)、韓国西部発電 (KOWEPO)、韓国中部発電 (KOMIPO)、韓国東西発電 (EWP) など韓国電力会社の代表が混燃および（または）バイオマス専用発電計画と木質ペレット/バイオマスの輸入に関する見通しを述べることになっている。それに加え、PT Inhutani III (Persero)、PT Trenergy Biomasse Indonesia、CellMark Asia Pte Ltd、Green Circle Bio Energy Inc. などのバイオマス材料サプライヤーがきわめて重要な市場分析を提供する。

今回の議題に特に加えられたものは以下の通り。
1) Drewry Maritime Services (ASIA) Pte. Ltd. などによる「木材チップとペレットのためのドライバルク海運市場と運賃の展望」のセッション
2) 会議後のワークショップ「韓国のバイオマスから発電までの市場におけるビジネス」
3) 韓国南東発電のヨンフン混焼発電所見学ツアー

今回の「世界バイオマス・バイヤー・サプライヤー会議」には200人強の代表、後援者、出席者、特別ゲストの出席が予定されている。

詳しい情報はウェブサイト
<http://www.cmtevents.com/aboutevent.aspx?ev=140916&> を参照。

▽問い合わせ先
Ms. Hafizah, +65 6346 9218
ソース：Centre For Management Technology

CUSTOMISED SPONSORSHIP OPPORTUNITY
Package available include Corporate, Exclusive Luncheon & Cocktail sponsor. Exhibition / catalogue display can be arranged upon request. Contact nisha@cmtsp.com.sg